

Information
06
とめ子育て応援ポイント事業の
申請・利用期限にご注意ください

令和8年9月から実施している「物価高騰対応とめ子育て応援ポイント事業」については、ポイントの「申請期限」と「利用期限」を設けています。期限を過ぎてしまうと、ポイントの受け取りや利用ができなくなりますのでご注意ください。

【申請期限】12月31日(木)まで
【利用期限】令和9年1月31日(日)まで

(日)まで
※ポイントの申請に必要なマイナンバーカードの取得には1カ月半ほどの期間を要します。申請期限に間に合うよう、早めの手続きをお願いします。
※詳細は、ホームページを確認するか問い合わせください
【問い合わせ】▼ポイント事業に関すること▶福祉事務所子育て支援課(子育て支援係)
☎0220(58)5562
▼みやぎポイントアプリに関すること▶みやぎポイントコールセンター
☎0120(655)067



市公HP「物価高騰対応とめ子育て応援ポイント事業について」

Information
07
畜産農家の飼養管理技術が高評価
県総合畜産共進会(肉用牛の部)



令和8年度宮城県総合畜産共進会(肉用牛の部)が、9月4日、5日にみやぎ総合家畜市場(美里町)で開催されました。登米市の出品牛の多くが上位入賞を果たし、生産者の飼養管理技術が高く評価されました。結果は次のとおりです。(敬称略)

【最優秀賞】▼1区(若雌の1) Ⅱ3席/まりん号/Taim
ファーム(南方町)▼2区(若雌の2) Ⅱ2席/ひな号/チバズ

ファーム(迫町)、4席/みつば号/小野寺正人(迫町)▼4区(高等登録群) Ⅱ1席/登米和牛育種組合らむね号/チバズファーム(迫町)、すばらいと号/チバズファーム(迫町)

【特別賞】中躯賞Ⅱ登米和牛育種組合らむね号/チバズファーム(迫町)、すばらいと号/チバズファーム(迫町)

【問い合わせ】産業経済部農政課(畜産振興係)
☎0220(34)2713



第4区(高等登録群)最優秀賞1席、特別賞(中躯賞) 登米和牛育種組合 (左から)すばらいと号、らむね号/チバズファーム(迫町)

Information
08
ペットとより良い関係を
愛犬と飼主のマナーアップ講座を開催



ペットとより良い関係を築くための実技指導や、しつけ方の個別相談などを実施します。

日時	時間	会場
11月21日(土)	午前9時30分	米山 中津山公民館
22日(日)	～11時30分	迫 北方公民館

※上靴を持参してください

【定員】▶飼い犬(中型まで)同伴＝各会場7組(1世帯当たり1組まで。未受講者優先となります)
▶聴講＝各20人まで
【講師】日本警察犬協会公認訓練士 松本章氏
【内容】実技指導やしつけ方の個別相談など
【受講料】無料

【申込方法】電話、ファクシミリまたは電子メール(住所、氏名、電話番号、受講会場、参加人数、犬の名前、犬の改善したい点と、「マナーアップ講座受講希望」と明記してください)

【申込期限】各開催日の3日前(ただし、募集定員になり次第締め切りとなります)

【申し込み・問い合わせ】市民生活部環境課(生活環境係)
☎0220(58)5553
FAX 0220(58)3345
✉kankyo@city.tome.miyagi.jp



山内 清さんが
監査委員に選任

令和8年定例会9月定期議会が開かれ、監査委員の選任について同意されました。
委員には、山内清さん(東和町米川9区)が選任され、任期は令和12年9月30日までです。

石ノ森章太郎ふるさと記念館では、第75回特別企画展「佐武と市捕物控と時代劇の世界展」を開催しています。
石ノ森章太郎自身が最も愛した作品の一つとして知られ、本展では、江戸情緒あふれる複製原画をはじめ、アニメ版資料などを展示しています。ぜひご来場ください。

【期間】9月12日(土)～令和9年1月24日(日)
※令和9年1月24日(日)に小野寺丈さんトークショー＆メモリアルデーを開催します

【入館料】大人700円、中高生500円、小学生200円
※詳しくは、ホームページを確認するか問い合わせください
【問い合わせ】石ノ森章太郎ふるさと記念館
☎0220(35)1099



小中学校の
これからを考える

学校再編

通信 vol.2

小規模校の長所と短所

市内の小中学校では、児童生徒数の減少に伴い、学校規模の小規模化が進んでいます。
現在、市内に19校ある小学校のうち16校が、10校ある中学校のうち4校が全学年1学級となっています。
小規模校には、児童生徒一人一人に目が届きや

すく、きめ細やかな指導が行いやすいことや、異学年とのつながりが深まるなどの多くの良さがあります。その一方で、学校教育は一定の集団で行うことを前提としていることから、児童生徒が多様な考え方に触れ、互いに学び合える教育環境をどう確保していくのが課題となっています。

小規模校の長所

- ・児童生徒一人一人に目が届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすい
- ・学校行事や部活動等において、児童生徒一人一人の個別の活動機会を設定しやすい
- ・異学年間の縦の交流が生まれやすい
- ・全教職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい

【問い合わせ】教育委員会教育部学校再編推進室(学校再編推進係)
☎0220(34)2679

小規模校の短所

- ・集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい
- ・クラス替えが困難なことなどから、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい
- ・運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい
- ・中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しにくい

市公HP「学校再編整備」